



ホース交換キット

Groundsmaster® 3200 および 3300 シリーズトラクションユニット

モデル番号 144-3960

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

| 内容 | 数量 | 用途 |
|---|--|------------------------------|
| 必要なパーツはありません。 | — | マシンの準備を行います。 |
| 右側クーラシュラウドブラケット 左側クーラシュラウドブラケット フランジナット5/16" ホースガイド 平ワッシャ5/16" | 1 1 4 2 4 | クーラシュラウドブラケットにホースガイドを取り付けます。 |
| ストレートフィッティング 90° エルボフィッティング ストレートフィッティング付きホース 90° エルボフィッティング付きホース 右側クーラシュラウドブラケットアセンブリ キャップ ナイロンロックナット $\frac{3}{8}$ " ボルト $\frac{3}{8}$ x 3" 平ワッシャ $\frac{3}{8}$ " | 1 1 1 1 1 2 1 1 1 | 右側ホースを取り付けます。 |
| ストレートフィッティング 90° エルボフィッティング ストレートフィッティング付きホース 90° エルボフィッティング付きホース 左側クーラシュラウドブラケットアセンブリ ホースガイド キャップ ナイロンロックナット $\frac{3}{8}$ " ボルト $\frac{3}{8}$ x 3" 平ワッシャ $\frac{3}{8}$ " | 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 | 左側ホースを取り付けます。 |

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カuttingユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体後部を持ち上げてジャッキスタンドで支える。持ち上げの手順についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。
6. フードのラッチを外してフードを整備位置に倒す。
7. 後輪を取り外す。



クーラシラウドブラケットに ホースガイドを取り付ける

左右のクーラシラウドブラケットにホースガイドを取り付ける平ワッシャ5/16"2枚、フランジナット5/16"2枚を使用する [図 1](#)を参照。

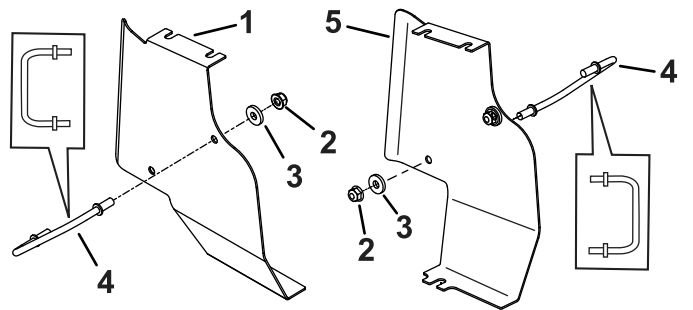


図 1

g359126

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 左側クーラシラウドブラケット | 4. ホースガイド |
| 2. フランジナット (5/16") | 5. 右側クーラシラウドブラケット |
| 3. 平ワッシャ5/16" | |

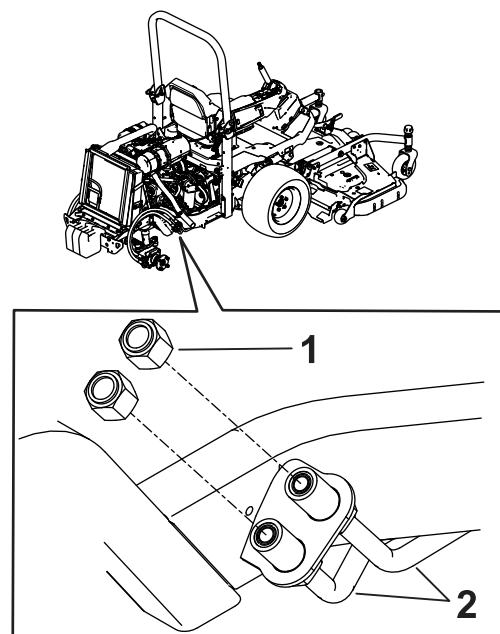


図 3

g360588

- | | |
|---------|----------|
| 1. キャップ | 2. 油圧ライン |
|---------|----------|

3. ホイールモータに新しいストレートフィッティングと90°エルボフィッティングを取り付ける [図 4](#)。

右側ホースを取り付ける

注 取り付けは片側ずつ行ってください。

1. ホイールの前にある油圧ラインから既存のホースを外し、急いで油圧ラインをキャップでふさぐ [図 2](#)と[図 3](#)。

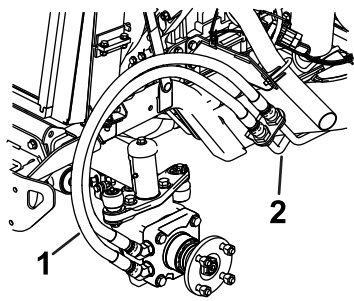


図 2

g368201

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 既存のホース | 2. 油圧ライン |
|-----------|----------|

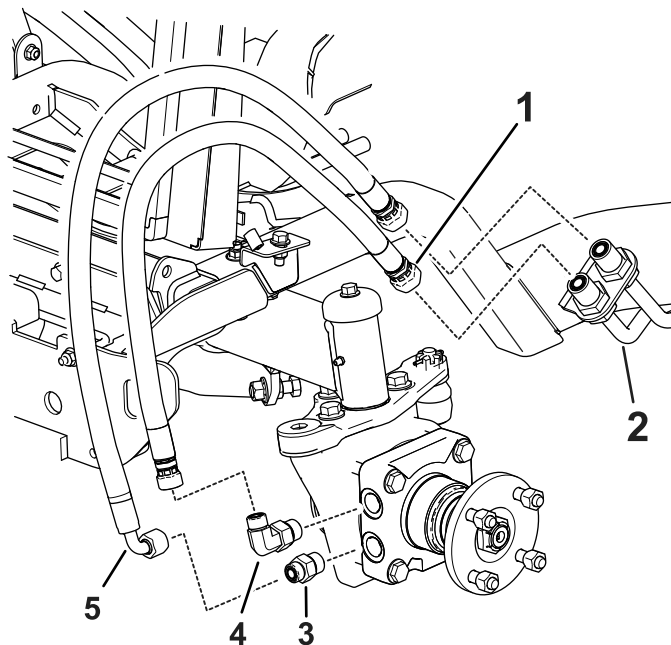


図 4

g364926

2. ホイールモータについているホースフィッティングを外す。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. ストレートフィッティング付きホース | 4. 90°エルボフィッティング |
| 2. 油圧ライン | 5. 90°エルボフィッティング付きホース |
| 3. ストレートフィッティング | |

4. 90° エルボフィッティングは、[図 5](#)のように 15° の角度に調整する。

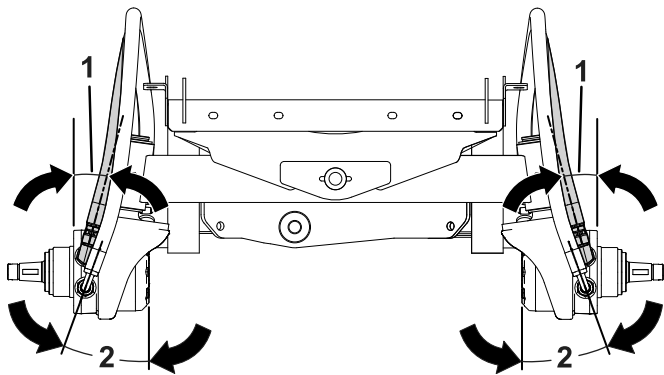


図 5

g359115

1. ストレートフィッティング付き 2. 90° エルボ付きホースは
ホースは 15° 20°

5. ホイールモータのフィッティングをそれぞれ
142 N·m14.5 kg.m = 105 ft-lbにトルク締めする。
6. ストレートフィッティング付きホースを、90° エルボ
付きホースに取り付ける [図 4](#)。
7. ストレートフィッティングに 90° エルボ付きホー
スを取り付ける [図 4](#)。
8. 90° エルボフィッティングは、[図 5](#)のように 20° の
角度に調整する。
9. フィッティングに取り付けたホースをそれぞれ
57 N·m5.8 kg.m = 42 ft-lbにトルク締めする。

注 各フィッティングの角度を[図 5](#)のように維持
すること。

10. ラジエターの下でバンパーブラケットを固定してい
る既存のナットとボルトを外す [図 6](#)。
11. 既存のナットとボルトを、ボルト $\frac{3}{8}$ x 3"、平ワッ
シャ $\frac{3}{8}$ "、フランジナット $\frac{3}{8}$ "に取り換える。ボルト
の締め付けはクーラシュラウドブラケットの取り付
けが終わるまで行わない。

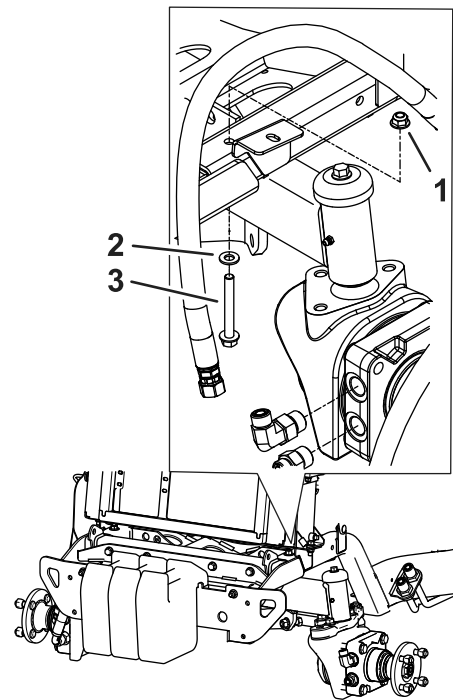


図 6

g360591

1. フランジナット $\frac{3}{8}$ " 3. ボルト $\frac{3}{8}$ x 3"
2. 平ワッシャ $\frac{3}{8}$ "

12. ラジエター側部にあるボルトをゆるめる [図 7](#)。
13. ラジエターとバンパーブラケットにあるボルトの頭
の下にクーラシュラウドブラケットを入れる [図 7](#)。

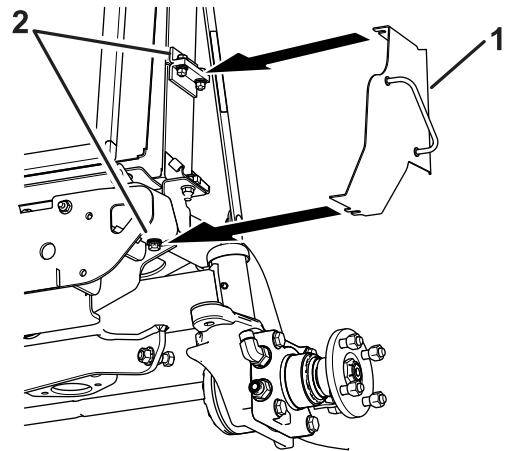


図 7

g360593

1. クーラシュラウドブラケット 2. ボルトの頭

14. クーラシュラウドブラケットを入るところまで押し込
んでボルトを締めつける。

15. ホースガイドにホースを通して配設する **図 8**。

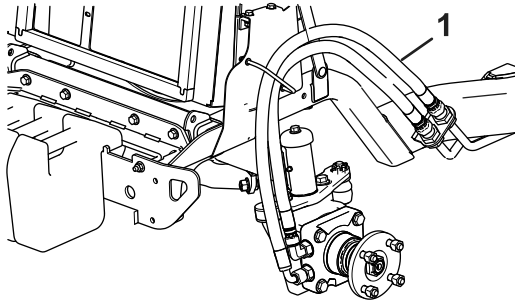


図 8

g360590

1. ガイドに取り付けて配設されたホース

16. キャップを外してホースを **図 4** のように正しく取り付け。キャップは1個ずつ取り外すこと。

注 ホースをねじってしまわないように、補助レンチを使い丁寧に締め付けてください。

17. 残っているキャップを外して、ホースを油圧ラインに接続する **図 4**。

18. 油圧ラインに取り付けたホースをそれぞれ 85 N・m 8.7 kg・m = 63 ft-lb にトルク締めする。

注 ホースが横並びでなく、上下に並んで配設されていることを確認してください。

19. 後ホイールを取り付けるホースとタイヤの側面との間に 1.6-4.8 mm のすき間があることを確認する。

20. すきまが規定範囲にない場合には、90° エルボまたは 90° フィッティングでホースを調整する。

21. ホイールラグナットをトルク締めする手順についてはオペレーターズマニュアルを参照。

左側ホースを取り付ける

1. ホイールの前にある油圧ラインから既存のホースを外し、急いで油圧ラインをキャップでふさぐ **図 9** と **図 10**。

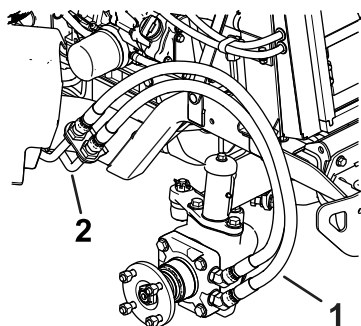


図 9

g368212

1. 既存のホース 2. 油圧ライン

2. ホイールモータについているホースフィッティングを外す。

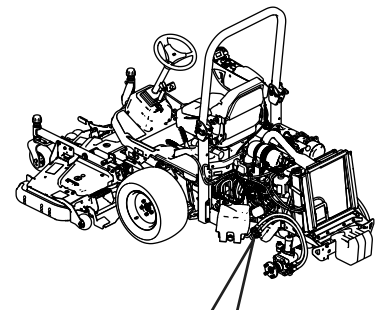


図 10

g359336

1. キャップ 2. 油圧ライン

3. ホイールモータに新しいストレートフィッティングと 90° エルボフィッティングを取り付ける **図 11**。

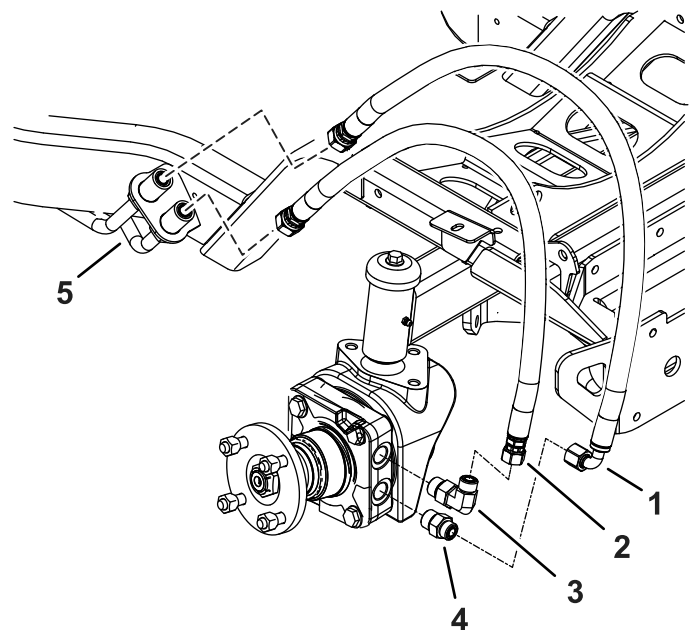


図 11

g359303

1. 90° エルボフィッティング付 4. ストレートフィッティング
きホース
2. ストレートフィッティング付 5. 油圧ライン
きホース
3. 90° エルボフィッティング

4. 90° エルボフィッティングは、**図 12** のように 15° の角度に調整する。

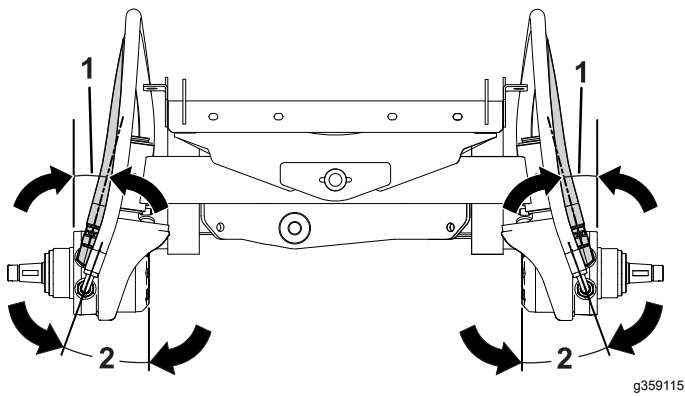


図 12

1. ストレートフィッティング付き 2. 90° エルボ付きホースは
ホースは 15° 20°

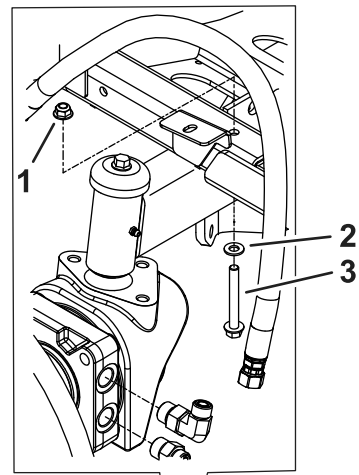


図 13

1. フランジナット $\frac{3}{8}$ " 3. ボルト $\frac{3}{8}$ x 3"
2. 平ワッシャ $\frac{3}{8}$ "

5. ホイールモータのフィッティングをそれぞれ
142 N·m 14.5 kg·m = 105 ft·lb にトルク締めする。
6. ストレートフィッティング付きホースを、90° エルボ
付きホースに取り付ける 図 11。
7. ストレートフィッティングに 90° エルボ付きホー
スを取り付ける 図 11。
8. 90° エルボフィッティングは、図 12 のように 20°
の角度に調整する。
9. フィッティングに取り付けたホースをそれぞれ
57 N·m 5.8 kg·m = 42 ft·lb にトルク締めする。

注 各フィッティングの角度を図 12 のように維持
すること。

10. ラジエターの下でバンパーブラケットを固定してい
る既存のナットとボルトを外す 図 13。
11. 既存のナットとボルトを、ボルト $\frac{3}{8}$ x 3"、平ワッ
シャ $\frac{3}{8}$ "、フランジナット $\frac{3}{8}$ " に取り換える。ボルト
の締め付けはクーラシュラウドブラケットの取り付
けが終わるまで行わない。

12. ラジエター側部にあるボルトをゆるめる 図 14。
13. ラジエターとバンパーブラケットにあるボルトの
頭の下に左側クーラシュラウドブラケットを入
れる 図 14。

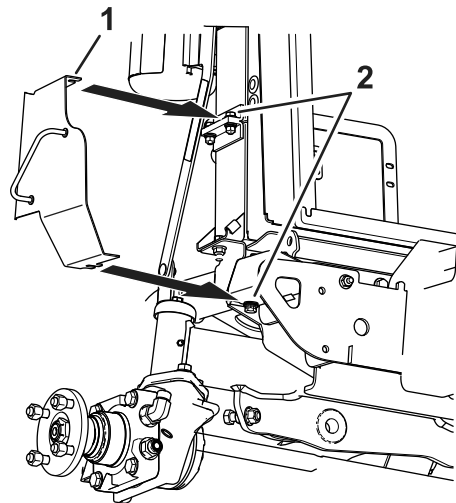
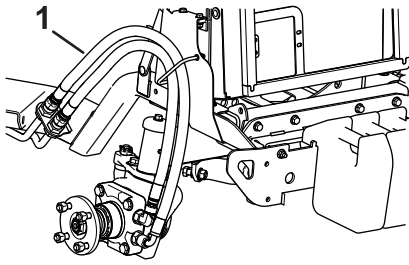


図 14

1. クーラシュラウドブラケット 2. ボルトの頭

14. クーラシュラウドブラケットを入るところまで押し込
んでボルトを締めつける。
15. ホースガイドにホースを通して配設する 図 15。



g359337

図 15

1. ガイドに取り付けて配設されたホース

16. キャップを外してホースを図 11 のように正しく取り付け。キャップは1個ずつ取り外すこと。
注 ホースをねじってしまわないように、補助レンチを使い丁寧に締め付けてください。
17. 残っているキャップを外して、ホースを油圧ラインに接続する図 11。
18. 油圧ラインに取り付けたホースをそれぞれ 85 N·m
8.7 kg·m = 63 ft·lb にトルク締めする。
注 ホースが横並びでなく、上下に並んで配設されていることを確認してください。
19. 後ホイールを取り付けるホースとタイヤの側面との間に 1.6-4.8 mm のすき間があることを確認する。
20. すきまが規定範囲にない場合には、90° エルボまたは 90° フィッティングでホースを調整する。
21. ホイールラグナットをトルク締めする手順についてはオペレーターズマニュアルを参照。
22. フードを閉じてラッチを掛ける。
23. 機体の後側を床面に降ろす。
24. マシンを運転してゆっくりと何度か前後方向に走行し、油圧システム内部のエアをパージする。
25. フィッティングやホースの接続部からオイルが漏れていないか点検する。
26. 油圧オイルの量を点検する手順についてはマシンのオペレーターズマニュアルを参照。

メモ



Count on it.